



赤い羽根共同募金の活動に感謝！

会長 藤原 実

日頃から会員の皆様には、当地区の社協事業の推進に対しご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

令和2年度の「安心見守り事業」「ふれあいサロン事業」「敬老会事業」等は、新型コロナウイルスの感染防止のため、本来の活動が出来ずに終わってしまいました。

ふれあいサロンは3回の開催、敬老会事業は対象者への記念品配布のみ、予定していた会議や研修会も中止しました。関係の皆様には、ご心配やご不便をおかけしておりますが、ご理解を頂きたく思います。

新型コロナウイルスの勢いが沈静化の気配が見えるものの、まだ予断を許さない状況です。医療関係者のワクチンの先行接種、4月中旬からは高齢者の接種が行われるとは言え、不要不急の外出など日常生活の制限や自粛が続くと思われまます。

行動自粛により企業の経営、特にホテルや飲食店の経営が苦境にたたさされています。これらに対する公の支援はあるものの限定的です。一方、クラウドファンディング（インターネットを介し不特定多数から資金を調達する仕組み）により国民の善意による支援活動も報じられています。

世界的に困難な時ほど人間の善意や優しさが世界的なニュースになっています。

1947年の戦後、苦境時に発足した赤い羽根共同募金会が今年で75周年を迎えます。

この間、募金活動により多くの福祉活動を支援してまいりました。旭川共同募金委員会では、令和2年度の募金額は約2千200万円。これらの募金は、福祉団体・福祉施設への助成金約400万円、道内の福祉施設への700万円、募金推進費350万円となっています。なお、この広報誌「ふれあい」も共同募金の助成により発行しています。

愛宕地区での募金活動は、各町内会等（17町内会）及び地域の企業25社、また店舗5か所に募金箱を設置して募金の協力を頂いております。

また、街頭募金も地域の有志により行っています。これらの合計額は約50万円となっています。募金に対するご協力に心より感謝申し上げます。

結びに、当社協に対しての地域の皆様のご支援ご協力に心より感謝申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



この広報は赤い羽根共同募金の
配分を受けて発行しています。

「異例となった今年度の定期総会」

今年度の定期総会は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、書面議決による総会とさせていただきます。事後承認になりましたが、ご了承いただきたいと思います。

当初は感染拡大防止対策を取りながら何とか開催することは出来ないか、事務局サイドでいろいろ検討を重ねました。しかしながら、総会の会場の広さや出席人数を考えた場合、3つの密を避けることは大変難しいことが分かりました。

書面議決は本会を代表する28名の理事の皆さんにお願いしました。総会資料のご検討をお願いし、5月1日必着でご提出いただきました。結果は以下の通りです。

書面議決書

令和2年度総会（書面承認）について、次の通り承認に関する権限を行使します。

（各議案について、「賛成」「反対」のどちらかに○をつけてください。）

議案

| | | | | | |
|-------|--------------|----|---|----|---------|
| 第1号議案 | 令和1年度事業報告 | 賛成 | ・ | 反対 | （賛成27名） |
| 第2号議案 | 令和1年収支決算報告 | 賛成 | ・ | 反対 | （賛成27名） |
| 第3号議案 | 令和2年度事業計画（案） | 賛成 | ・ | 反対 | （賛成27名） |
| 第4号議案 | 令和2年度収支予算（案） | 賛成 | ・ | 反対 | （賛成27名） |
| 第5号議案 | 役員改正（案） | 賛成 | ・ | 反対 | （賛成27名） |

結果

第1号議案から第5号議案まで賛成多数で可決させていただきました。

第1回社協役員会の開催

6月26日（土）午後6時より、愛宕富士住民会館で開催。

開催に当たっては、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、3つの密を避けるなどの基本的な感染対策をしながらの会議となりました。

主な協議事項は以下の通りです。

- ①敬老祝賀会の開催についてコロナの感染拡大防止の観点から中止する。ただし、敬老会対象者には記念品を配る。
- ②ふれあいサロン事業について当面は中止するが、後の地域の感染拡大状況等を踏まえながら再会について考えていく。
- ③安心見守り事業と声かけ運動について感染予防対策を取りながら、出来る範囲で実施。
- ④赤い羽根共同募金運動についてこれまでの内容で実施する。
- ⑤見守り事業情報交換会や地域福祉を考える学習会の開催については、コロナの感染状況を踏まえながら判断する。



残念だった敬老祝賀会の中止

例年、敬老の日には、77歳以上の高齢者の皆さんを招待し感謝と長寿を祝う会を盛大に開催してまいりました。しかし、コロナ禍の中で大勢の人が集い飲食を伴う会となると、感染予防対策をとることさえ難しく断念せざるを得ませんでした。

対象者の皆さん方は、長年に渡って社会に貢献されてきました。「敬老の日」の精神を尊重し、感謝の気持ちと益々の健康とご多幸を祈念し、ささやかですが記念品を贈らせていただきました。

尚、今年度の対象者の方は、1617名（男性683名、女性934名）の計1617名でした。昨年より80名ほど増えております。

連帯感が弱体化し地域が衰退する中、人への感謝と思いやりを大事にする敬老会は地区社協として、今後とも大事にしなければならないと思っております。特に祝賀会は、世代を超えた住民の集まりで交流を深める数少ない地域的な行事になっています。

コロナ禍でのサロン活動 8月、9月、10月の3回実施

今年度のサロン活動は新型コロナウイルスの感染拡大に振り回され、殆ど中止になってしまいました。

ただ、5月25日に国の感染防止に係わる緊急事態宣言が解除され、感染が小康状態になった8月から10月までの3回だけ何とか再開することが出来ました。しかし、秋が深まり寒さに向うにつれて再び感染が急速に拡大し、現在まで中止の状態が続いています。

再開となった8月のサロン活動の様子

サロン当日の朝、会員の皆さんが次々に会場の愛宕富士住民会館に姿を見せました。消毒や検温を済ませ会場のあちこちで「元気だったかい」「会えてよかった」と、久しぶりの再会を喜び分かち合っていました。

参加を見合わせる会員さんも多いのではと思っていたのですが、予想を超える23名の出席でした。

密集や密接を避けての活動のため、軽体操と室内でのパークゴルフをすることになりました。最初は間隔を取っての体操です。会場に響くのは、指導者の声ばかりです。会員さんはただ黙々と身体を動いていましたが、その真剣な姿がとても印象に残りました。時々、休憩や水分補給もしっかり取りました。

次は恒例の室内パークゴルフです。紙のグリーンには0点～100点までのホールが沢山あり、得点の高いホールをねらってボールを転がします。少し強めに打つと、ボールは転がり過ぎてOBも出てしまいます。ショットの度に起きる派手な歓声もアクションも、今日はとても遠慮気味です。

あっという間に終了の時間が来ました。帰り際の「今日は楽しかったよ」の会員さんたちの声、マスク越しからの笑顔の表情が十分伝わってきました。

半年ぶりのサロンでしたが、仲間との会話や交流が会員の皆さんの心の支えになっているようです。



軽体操



室内パークゴルフ

赤い羽根共同募金 ご協力ありがとうございました。

- ★町内会を通しての戸別募金は17町内で358,800円でした。
- ★愛宕地区内の事業所等からの大口募金は、25社117,000円でした。
- ★今年度も街頭募金等を実施させていただきました。
 - 10月4日(日)ベストプライス豊岡中央店での街頭募金は7,128円でした。
 - 5店舗に設置の募金箱（レストランオーリーブ、味処内海、富貴堂豊岡店、クラフト館、ツルハドラック豊岡12条店）の金額は10,865円でした。
- ★イベント募金（あさっぴー寄付金付バッチの売り上げは5,000円です。尚、ご協力いただいた大口募金の各社は以下の通りです。



- | | | |
|---------------|-----------------|-------------|
| ■ ささき歯科 | ■ アサヒ管財(株) | ■ はしづめクリニック |
| ■ 會田建設(株) | ■ プリントショップ彩光 | ■ 誓願寺 |
| ■ (株)大協 | ■ いちかわ耳鼻咽喉科 | ■ (株)セラホック |
| ■ (株)米田組 | ■ とくひろ整形外科クリニック | ■ やまぐち眼科 |
| ■ すずき歯科クリニック | ■ はやし内科胃腸科小児科医院 | ■ 密伝禅寺 |
| ■ (NPO)動物園クラブ | ■ 梅津歯科クリニック | ■ たに歯科医院 |
| ■ (株)長勢紙業 | ■ 動物園通りの動物病院 | ■ たいせつ動物病院 |
| ■ (有)山岡金物店 | ■ (株)マツヤ塗装工業 | ■ 今本歯科医院 |
| ■ 留萌信用金庫あたご支店 | | |

コロナ禍での一人世帯のお年寄りの声

- ・外出するのはスーパーに買物に行くぐらいになってしまった。
- ・コロナも恐いが冬道は転びやすいので外出は控えている。
- ・何日も人と話すことがなくてストレスがたまってしまう。
- ・心配や不安で体の調子がすぐれない。
- ・隣近所の人と顔をあわせることがめっきり減ってしまった。
- ・サロン仲間から電話をもらい元気が出ました。
- ・友達との長電話で上手にストレスを発散しています。
- ・運動不足なので、ラジオ体操や一人カラオケで頑張っています。



一人暮らし世帯を訪問するボランティア

皆さん、若い人たちと比べて感染リスクが高いことを自覚されています。不用不急の外出や人との出会いを減らすことが求められ中、自分なりの方法で気分転換を図りながら前向きに頑張っている姿が見られます。

編集後記

地区社協広報「ふれあい36号」をお届けします。寒くて雪の多い冬でしたが、ようやく日差しにも春の兆しを感じる頃になりました。会員の皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしでしょうか。今年度は新型コロナウイルスの影響で、予定していた活動も思うように推進することが出来ずに終わろうとしています。新年度の事業も、コロナの感染状況をしっかり見極めながら活動に当たっていきたいと考えております。今後とも、会員の皆様の温かいご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。